

# 平成 29 年度経営発達支援計画状況報告

	目標	実績
1. 支援先掘り起し件数	55 社	176 社
2. 事業計画策定件数	55 社	86 社
3. フォローアップ件数		
①定期的なフォロー	110 回	107 回
②計画策定後の調査・分析	18 社	6 社
③出展補助金による支援	20 社 (3 社は事業計画策定支援)	3 社 (内、 1 社事業計画策定支援)
④広報掲載実績	100 社 (3 社は事業計画策定支援)	31 社 (内、 19 社事業計画策定支援)
⑤記者クラブへの情報提供	2 社 (1 社は事業計画策定支援)	4 社 (内、 2 社事業計画策定支援)
⑥海外販路開拓支援	10 社 (1 社は事業計画策定支援)	10 社 (内、 8 社事業計画策定支援)
⑦リーディング産業展等 出展支援	8 社 (2 社は事業計画策定支援)	9 社 (内、 5 社事業計画策定支援)
⑧金融機関主催展示会出展支援	5 社	0 社
4. 創業支援件数	25 名	21 名

## 【有識者による評価・見直し案の掲示】

開催日：平成 30 年 7 月 19 日(木)

### ■評価

前年に続き、四日市商工会議所が経営発達支援計画で定めた評価項目について、①支援先掘り起し件数と、②事業計画策定件数は大幅に目標値を上回っており、③フォローアップ件数もわずかに未達（目標 110 回に対して実績 107 回）であったが、概ね評価できる。

### ■見直し案

今後計画を進めていく上で注意すべき点としては、そもそも経営発達支援計画は伴走型の個人の出口支援である。

その意味では、新たな需要の開拓に寄与する事業支援が最重要であることから、展示会・商談会出展支援事業者、販路開拓支援事業者を増やし、新たな需要開拓を行う事業者を増やす支援に重点を置き効果を上げてほしい。

その際には、展示会前の商材の絞り込みやターゲットの設定等事前準備を行い、当日の円滑な商談の進め方やその後のフォローアップの手法まで一貫して伴走しながら支援を進めることで成果に結びつくと思われるので、そのような体制づくりを再度望みます。